

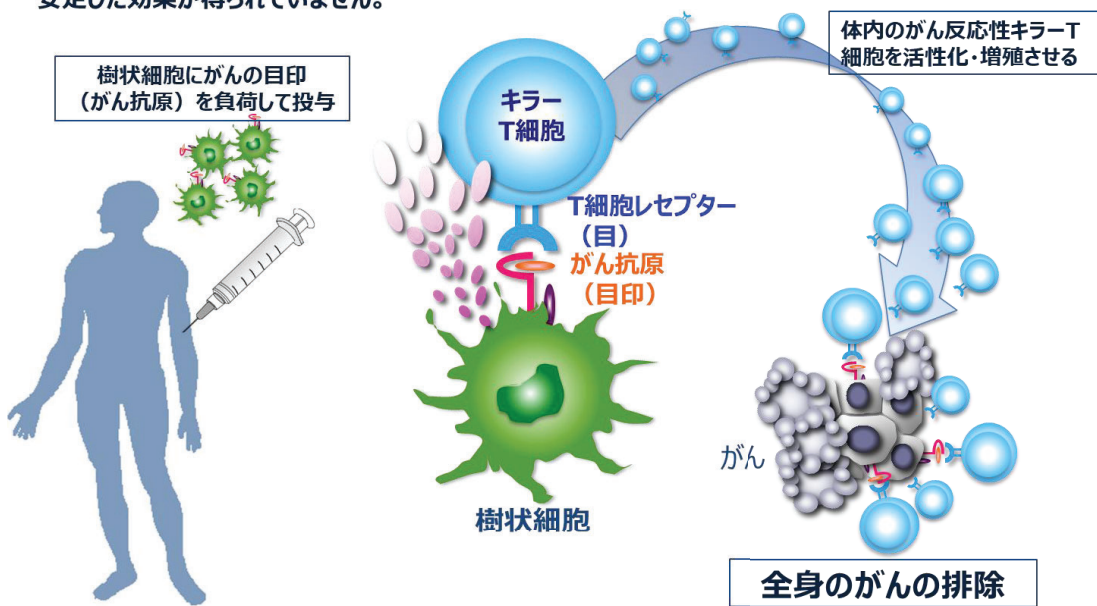
iPSテクノロジーを用いた新たながん免疫療法の開発

国立がん研究センター先端医療開発センター 免疫療法開発分野

iPSテクノロジーを用いた新たながん免疫療法の開発

樹状細胞（DC）にがんの目印を付与して投与する細胞療法は優れた効果が期待されるがん免疫療法の1つです。

現在、行われているDC療法は、自己の採血によって得られたDCを使用する為に、細胞機能が不安定で、安定した効果が得られていません。



私たちは、ヒト人工多能性幹細胞（iPS細胞）から「がん治療用DC」を作製する技術を開発しています。この細胞は、自己採血によって得られたDCを投与する従来の方法よりも安定した効果を発揮する可能性を秘めています。

